



新年、明けましておめでとうございます
 楽園住宅では、今年も皆様に安全で快適な暮らしと、人と地球環境にやさしい住まい造りへの一層の努力をして参ります。
 本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

10人
 十色

の御宅完成しました Vol.10 国土交通省から100万円の補助金を頂きます

この御宅の外部に接している面の隙間の合計を実測したら、名刺1枚より少ない面積しかなかったという事です。

住まいの内側から外に逃げる熱の割合から断熱性能を示すもので数値小さい程、断熱性能が高いことを示します。H11年次世代省エネ基準(国が定めた一番厳しい基準)ではこの地域はQ=2.7W/m²K、H25年省エネ基準(国が定めた一番厳しい基準)ではUA=0.87W/m²Kで良いとしています。

❖C値(相当隙間面積)=0.4cm²/m²

❖Q値(熱損失係数)=1.36W/m²K

❖UA値(外皮平均熱貫流率)=0.36W/m²K



↑最近では少なくなった和風玄関。玄関庇を作らせていただきました。この建物にふさわしい風格となりました。



↑「昔の家の材を使用し面影を残してほしい」というご要望があり、玄関框と玄関の床に貼ってあった石を再利用しました。玄関框は先代様が嫁がれ、毎日磨いて黒光りするようになったそうです。



↑無垢のような感じに仕上げたいと、お施主様がキッチンのカラーを選択されました。背面収納はキッチンに合わせて家具で製作しました。



←24cm角の大黒柱を中心としたLDK。建具を開けて使うと大空間となります。室内の建具は開けっ放しにしても家中温度差が無く快適です。



↑お母様の寝室。北側ですが、2方向に窓もあり明るい室内。真ん中にある小窓付きの扉の向こうはトイレです。



←お隣の建具屋さん、建具を製作して頂きました。無垢の杉板柾目を使用し、建材にはない風合いとなりました。

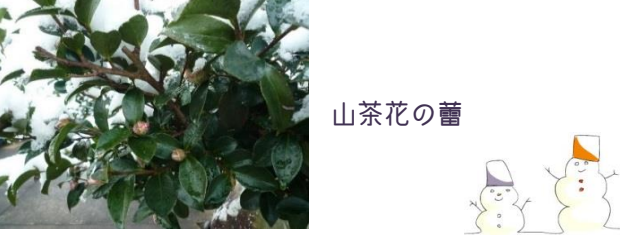
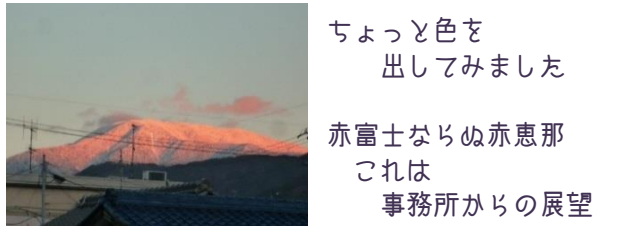
—お施主様のご感想—
 子供達が帰って来た時は、工事中に仮住まいしていた離れと、新築した建物と両方使えていいなと思っていましたが、住み始めると快適すぎて、ついこの間まで住んでいた離れにはもう行く気になれません。
 暖かい家で眠れて感謝してます。
 (12月中旬インタビュー)



—冬景色—



見て下さい
 家の周りは白一色
 (どんなところに住んでいるのかな...?)



探せば雪の中にも色々な色がありますね!

ZETHモデルハウス



—ZETH(ゼツ)
 モデルハウスのご案内—
 ぎふ性能表示材・ぎふ証明材を使った、高断熱技術と伝統的な土塗壁のハイブリット住宅です。

【開館時間】
 10:00~17:00
 冬の土塗壁の性能をぜひご体感ください

豆知識

1年を通して一番寒さの厳しい季節ですね。凍結防止用の給湯器配管ヒーターの電源を入れ忘れていませんか? また、浴槽の残り湯は循環ポンプの凍結を防ぐため、循環金具の上部10cm位上までは残しましょう。夜間の浴室の窓の開放は凍結の原因となるので要注意です!



お節

楽園住宅 検索

答えは楽園住宅ホームページをご覧ください

金子一弘の世界見聞録 第22巻

—お詫びと訂正—

楽園だより11月号『金子一弘の世界見聞録 第21巻』におきまして、文中の最後から2行目の単位に誤りがございましたので、以下のとおり訂正致します。

【誤】1,500㎡/€

【正】1,500€/㎡

読者の皆様、ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけ致しましたことを深くお詫び申し上げます。

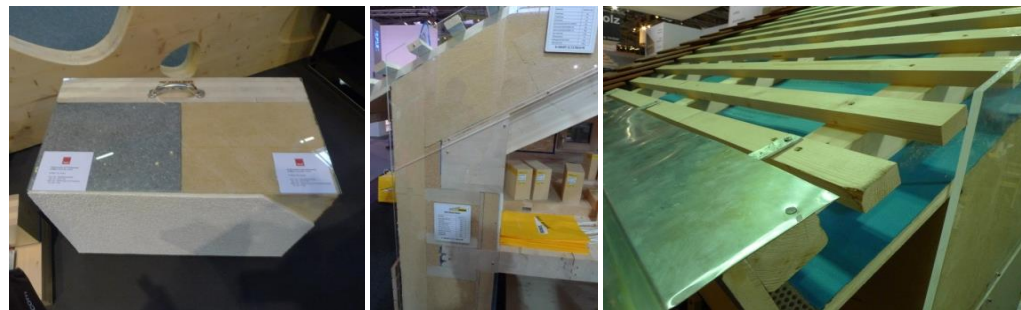
ドイツの旅 その4 断熱に関する展示について

現在のドイツでは300~400mmの断熱厚が一般的で、グラスウールやロックウールを始め、草や藁、麻、羊毛等の自然素材や木質繊維板、木質ボード、セルローズファイバー等が多くなっている。これまでドイツの普通の住宅は、レンガ(多孔質)造で床と屋根に木材が使われている。このレンガの外部にEPS【Expanded Poly-Styrene(エクスパンド ポリスチレン)ビーズ法ポリスチレンフォームという樹脂系の断熱材、身近なものでいうと発泡スチロール。】100mm程度を張り、湿式で仕上げる工法が一般に普及し、木造で建てる住宅は高級住宅と考えられてきた。最近では環境問題から、高熱で焼くレンガよりも環境負荷が約1/4以下と小さいため、木造が増えている。この木造住宅も多くはパネル化され、断熱材も工場で作られて現場へ搬入されるケースが多くなっている。このパネルはTJI【Trus Joist IBeam(トラス ジョイスト アイビーム)構造用パネルの上下を木材で挟み込んだ I型断面の構造用部材。】を使用するものから、一般に使われる60mm×120mmの躯体(アメリカでは一般的に38mm×89mmを使用。)に付加断熱されたものまで、いろいろな形式が現場では採用されている。



↑CLT(直交方向集成材)マッシュ・ホルツ

↑木質繊維板の付加断熱躯体の模型



↑セルローズファイバーと木質繊維板断熱材の各種納まりを模型で展示している↑



↑木質繊維板の納まり。湿式による仕上げが多く、繊維板はステーブルで施工する。↑



↑木質繊維板を使った既存改修の納まりも多く展示されていた。↑

会場には各社、各様の断熱仕様が模型として展示されている。それぞれの部材は熱貫流率、透湿抵抗比、熱容量等が異なり、納まりに工夫がみられる。

ドイツの旅
まだまだ続きます
お楽しみに!



楽園住宅情報コーナー

元祖土塗壁高断熱高気密住宅



ZETHモデルハウス冬の体感見学会 第2弾

(ゼロエネルギー木造住宅)

『6帖用エアコンたった1台で家中まるごと暖房中!』

日時: 2015年1月7日(水)
AM10:00~PM 4:00

場所: 十六銀行恵那支店さん北向かい
※表面地図をご参照下さい。

無料だよ!



白玉せんざいを
ご用意して
お待ちしております♪
※無くなり次第終了と
させていただきます。



太陽の熱を蓄えられる土塗壁だから
寒い冬もほんの少しのエネルギーで家中ぽかぽか
寒~いこの時期だからこそ是非体感して下さい!

あったか!断熱リフォーム

東濃地域の冬はとても寒さが厳しいですね。楽園住宅のあったか断熱リフォームは、お施主様から『リフォームでこんなに暖かくなるとは半信半疑だったけど、本当に暖かい!』と感想を頂いております。いざという時にちょっと着込めば、暖房無しで暮らすことも可能です。



『新住協のあったか断熱リフォーム物語』

をご希望の方は、お気軽に楽園住宅へご連絡下さい!

マンガだから
分かりやすいよ!



電力の小売り自由化

昨年6月の電気事業法改正により、2016年4月から誰でも家庭に販売できるようになります。従来は販売シェアの4割を占める家庭や商店向けの小売りは、東京電力など電力10社が地域ごとに独占していました。経済産業省は自由化によって開放される市場規模を約7.5兆円と試算し、8,000万件以上の家庭や商店が電力の購入先を選べるようになるようです。 <新聞記事より>

